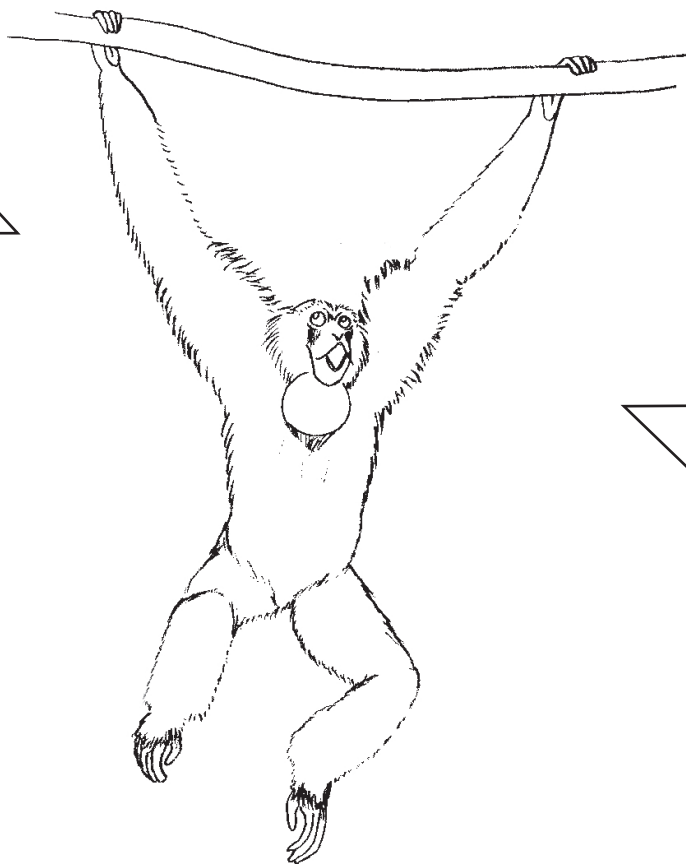


フクロテナガザルのかんさつシート

フクロテナガザルを^{かんさつ}観察して、^{すいり}どんなところにすんでいるのか、推理してみよう。

^{こうどう}行動をかんさつ！ ^み見られたものに○をしよう

- () ぶらさがっている
- () ^{うで}腕わたり（ブラキエーション）をしている
- () ^{じめん}地面におりている
- () ^{ほんあし}2本足で歩いている
- () ^たエサを食べている
- () ^ね寝ている
- () うんちをした
- () おしっこをした
- () ^{てつぼう}鉄棒の上を歩いている
- () ^{ぶくろ}のど袋をふくらませて、^な鳴いている
- () ^け毛づくろいをしている
- () ^{もの}物をつかんでいる
- () ^たその他



^な ^{こえ}どんな鳴き声？

^{まえあし}前肢と^{うしろあし}後ろ肢を^{くら}比べてみよう！

- ^{なが}長いのはどっち？
前肢 ・ 後ろ肢
- ^{つか}よく使っているのはどっち？
前肢 ・ 後ろ肢
- ^たその他、^{はっけん}発見したことは？

^{はっけん}発見したこと

どんなところにすんでいるか、^{かんが}考えてみよう！

^に似ている動物を探そう！

^{まえあし}前肢でぶらさがる動物 ^{どうぶつ}

^{たか}高い所を^{いどう}移動する動物 ^{どうぶつ}

^{がっこうめい}学校名

^{なまえ}名前

先生用 フクロテナガザルのかんさつシートと解説

ワークシートのねらい フクロテナガザルの行動観察を通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、その動物の生活や生態を想像したり、洞察力を高めるきっかけとする。

フクロテナガザル 霊長目テナガザル科

- ・スマトラ島やマレー半島南部の熱帯雨林で、1頭のオス、1頭のメス、子どもからなる群れで暮らしています。
- ・主に、イチジクなどの果実や木の実、木の葉や花などの植物を食べていますが、昆虫、小鳥、小動物なども食べます。動物公園では、バナナやリンゴ、キャベツ、ニンジン、サツマイモなどをあげています。
- ・樹上生活をしており、長い腕で腕わたり（ブラキエーション）をして、移動します。地上よりも樹上での動きの方がかなり機敏に行動することができます。
地上では、腕を左右に上げてバランスをとるようにして、後ろ肢だけで歩きます。
- ・テナガザルの仲間の中では最大の種です。



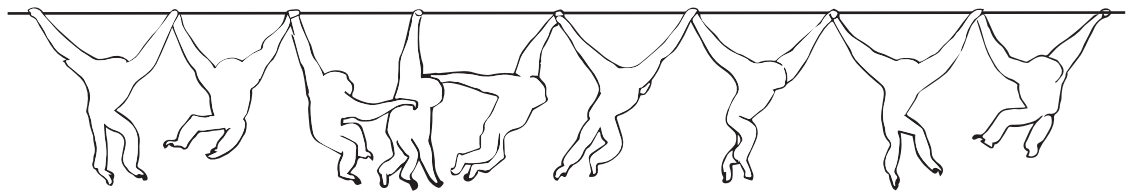
■ 樹上生活に適したからだ

樹上で生活しているため、両腕の筋肉がよく発達しています。木の枝などをつかみやすいように親指は短く、ほかの4本は細長く、掌も細長くなっています。足の長さ比べて、腕がとても長いという特徴があります。腕の長さは足の長さの約1.5倍の長さがあります。長い腕を活かして、ぶらさがりながら、枝から枝へと腕わたり（ブラキエーション）をし、森林の中でも効率よく移動することができます。



親指は短く、他の指は長い。

手の様子



腕わたり（ブラキエーション）

■ 大きな鳴き声とのおど袋

フクロテナガザルののどには、大きく膨らむおど袋があります。これにより、大きな鳴き声で鳴くことができ、他の群れに対してなわばりを主張したり、お互いの居場所を伝え合い、群れ間の出会いや争いを避けています。この声は、気温や風向きなどの条件により異なりますが、1.5km先まで聞こえ、コミュニケーションをとる役割を果たしています。動物公園でも開園直後や夕方、子どもの高い声に反応して鳴きはじめることが多く、展示場から離れたところでも鳴き声を耳にすることがあります。どこまで聞こえるか試してみてください。



* 飼育員のコラム 『動物たちの行動を引き出す展示場の工夫』*

フクロテナガザルは、野生では樹林のなかで長い腕を使い腕渡り（ブラキエーション）をして移動しながら生活しています。千葉市動物公園では腕渡りを再現するために一周約40メートルのループ状にした金属製の雲梯が設置してあります。また、自然木の代わりに電信柱を3本立て、そこに至るルートを手渡り移動出来るように、廃材の消防ホースで繋ぐ工夫がしてあります。毎日、オス（ブレイブ）とメス（ハート）の2頭のフクロテナガザルが元気にループ状の雲梯を使って鳴きながら腕渡りをしている姿が観察できると思います。

